

山村活性化対策事業 提案概要

町内に地域産物を使用したメニューや商品の試作販売を行う実験中核店舗を設置、運営。実験中核店舗を中心に、南小国産米を中心とする地域産物を加工販売する取り組みを行いながら、インバウンド客のニーズ調査を実施。実験中核店舗での食事メニューの提供と同時並行で、ふるさと納税や EC サイトを活用した BtoC による販売を目指した新たな特産加工品の開発を行う。

また地域産物の町内循環はもちろんのこと、東京や大阪といった首都圏への商談を行いながら、町産物をPR。南小国産米を計画的にブランディングすることで販売価格を上昇させ、町内の生産者全体が23年比1.5倍以上の売上を上げることが出来るよう様々な活動を実施し、当事業を補助期間終了後も継続して実施する仕組みを形成し、新規雇用など関係人口・定住人口の増加を図る。

①米を中心とした地域産物の消費拡大と農家の所得向上に向けた取り組み

②町の主産業となる農業と観光業の連携

③黒川温泉地区と連携した竹害対策